

# 酒々井町郷土研究会々報

第17号

昭和55.6.30

発行

酒々井町郷土研究会 総務部

## たんぼぼ談議

### 日本健在

相京晴次

「たんぼぼ」は春の野草の王者として昔から多くの人に愛されてきた。食用としても人気を集めています。たんぼぼの若葉は、あく抜きをして、おひたしや、胡麻あえとして美味しく食べられます。花と葉は天プラにして炒めたり、更に根はキンセラにしてよし、小さく刻んで果実酒の要領で焼酎づけにすると、たんぼぼ酒ができます。という万能ぶりであります。

ところで、このたんぼぼは日本の在来種ではなく、西洋種であるとの説が、もっぱら流布されているとのこと。はたしてどうでしょう。

去る四月二十七日付「朝日新聞」の京葉版トップに「タンポポの新住民時代」と題して、改州原産、強い繁殖力、秋国産と探すは至難のワザ」として千葉大教授(花き園芸学)Y氏、元助教A氏の談話がのっており、それによると県内では成田市や、柏市郊外のほか印旛、手賀沼周辺でしか咲いていないとなっており、

(在来種)



。花の下のほうと総苞片がすぼりつんでいる。花期は三〜四月



(西洋種)

。総苞片下側がそり返っている。花期は三〜十月と長い

この記事を見た時は「ナルホド」と感じして酒々井町近辺はみな西洋種だらう」と気にしてませんでした。

この記事を見た直後の五月初旬、銚子灯台附近と散策したところ、若場に、芝生にタンポポが今と盛りに咲いていました。同行のK氏ともども調べてみますと、これがどれみみ日本種です。日本タンポポ見つけたら、はかりに持参の移植コテで早速取り返して帰りました。

数日後、笠森地方へ行く機会があり、約二キロほど歩いた道にもタンポポの花ざかり。見ればこれらもみな日本種ではありませんか！西洋種は一株もありませんでした。

五月十一日の「町内史跡めぐりハイキング」で聖、馬橋、南酒々井、新堤方面のコースを巡り、例によって野草観察も兼ねた会です。からタンポポの植生についても話題となり、大川戸橋を渡った所で日本種タンポポと終見、酒々井町にも日本種あり、といふこと。また、大見でも、かのようにタンポポに對する、まなざしが変わってきた。庄倉市八木と経て新堤に至る路傍のタンポポは全部日本種であることと確認しました。

当然、朝日新聞の記事に大きな疑問が生じ、酒々井町のタンポポ分布調査をすることにいたしました。

調査はまず、概要を知るために、全町の主要道路沿いを主として観察することにしました。その結果次のような発見をいたしました。

たが、タンポポと決つたか、その種類は二十種以上、朝陽を多けて開き、午後三時、うからしはみはじめる。中国四国地方では大部分が白く花が大きい。佐倉厚生園近くで見つけた白ハタチは知る人ぞ知る。

## 会計報告

二月二十日
七草かゆを食べる会
会費 500 × 35 17,500
(支) セリ 2,400
魚腹 12,000
腹 105
大谷 11,130
25,635
△ (8,135)
不足分は郷土研事業費より

四月十九日
山菜を食べる会
(収入) 会費 500 × 13 6,500
男女 300 × 20 13,700
(支) 大谷 12,245
魚腹 10,200
A-700 2,995
25,440
△ (11,740)
不足分は郷土研事業費より補助

三月二十三日、二十八日
庄原方面史跡見学会
(収入) 会費 1,000 × 71 71,000
(支) バス代 16,000
弁当代 36,000
飲物 12,480
料観料 7,500
博物館手土産 2,500
74,480
△ (3,480)
不足分は事業費より補助

京増

その(一)

○日本在来種は酒々井町各所に発見された。

下岩橋4ヶ所、柏木2、伊藤新田2、上岩橋1、中川1、酒々井2、新堤1、酒々井2、星1、尾上2、飯積1、南地域に日本種は見つけられなかった。

その(二)

○日本在来種は静かな環境の中に多い。

経嵐寺、清光寺、妙胤寺の境内と墓地の中は日本種... 一歩外へ出た境外は西洋種でした。同行のS氏曰く「西洋タンポポは酒々井の西門に入ると禁ずらう。境内には入れないのでしよう」。

その(三)

○西洋種は公害地区に特に多い。

自動車の交通量の多い、国道、県道交差点、駐車場に多く、排気ガスによって登植している感があります。酒々井下宿は西洋タンポポの宝庫。

その(四)

○日本種西洋種が混生している所もある。

星大川戸、中川、南酒々井駅前、下岩橋などの地区です。

その(五)

○タンポポの分布はかたよっている。

伊藤・伊藤新田・飯積・向星・庄木戸等橋地区...の部落の中心部では、タンポポがほとんど見当たりにせん。あるのはいずれも村はずれでした。

今回の調査はタンポポの花期の終りになつてきた五月中旬の駆けあそび調査だったので、不十分な資料の中で、概要をまとめてみました。

来春四月には会員各位の御協力と得て正確な調査にのりこめたいと考えています。新聞記事にさっかきも得ていけ、今野草、タンポポに熱い目を向ける。今回の調査から更に多くの人の御協力をお願いいたします。

尚その後、筆者の旅先での観察によつても、日本種タンポポは次の各所で見つけました。日本種健在なり。悲観したものではありません。

湯西川平家部落、五十里ダム、千葉市大椎城址、大原市小浜八幡神社、茂原市木納城址 などです。



郷土研 誌

- 3月28日 佐原方面史跡見学会 71名参加
- 3月29日 会報 16号発行
- 4月12日 古文書学習会 8名  
13日 石仏調査 雨のため中止
- 4月19日 山菜を食べる会 37名参加  
20日 印旛村サイクリング 20名参加
- 5月10日 古文書学習会 8名  
11日 所内史跡めぐりハイキング 26名
- 5月17日 石仏調査 6名
- 6月7日 古文書学習会 8名
- 6月10日 運営委員会 7~9月行争計画  
14日 野草の会 大佐倉方面  
22日 石仏調査
- 6月24日 町外史跡見学会 大原方面

- 1月17日 会報 14号発行
- 1月22日 総会準備のため役員会開く
- 1月26日 郷土研総会 新予算案承認
- 2月9日 古文書学習会 9名
- 2月14日 郷土史講座 風土記の丘、文月寺 霊神社
- 2月22日 七草かゆを食べる会 参加 40名
- 3月3日 会報 15号発行
- 3月8日 古文書学習会 10名
- 3月13日 運営委員会 4~6月の行争計画
- 3月22日 野草の会 雨のため中止
- 3月23日 石仏調査 上本、水佐倉の寺院

一	つ	く	ん	ね	ど
通	せ	ん	ぼ	っ	こ
川	鳥	計	介		

「ひとつくれないと通せんぼ」

秋が深くなると日脚が早い。宿場町の辺に草の実がはぜる頃になると、外宿(とじやく)仲宿(なかじやく)上宿の子らに一つの楽しみがわいてくる。

「そろそろ上総みかんが来る頃だよ」

東金・成東方面が古来・上総柑橋類(温州・ふくれ・しらわかみん)の産地である。馬の背に一駄、一駄半(一駄は表にして三駄)と馬子らに牽かれてヤッてくる。お小遣錢もおやつもろくにしようえない悪童らの恰好の食べ物である。

昔の城下町の道路は、防戦上直線、直角にできている。

「そろそろ馬がきたかくれろ」

誰、うとなしに東の馬から見えはじめた荷駄の馬子らに見つかうまいように、溝の内側に散って思をこらす。数名、十数名の悪童らの目が光っている。四、五メートル中の道路を横切つて荒縄がビクツと動く。

ウンチがびっしょり塗ってある

縄である。

十余りの荷駄みかんが近づく。西側の溝から荒縄とピンと引張つて「ワァー」と跳び出す。

「一つくんねど通せんぼっこ」

「一つくんねど通せんぼっこ」

「ワツラ(お前)しようねえ飯鬼らだよ」

と笑いながら、俵のみかんを取り出し投げていく。俵の馬子を取りげづらも笑つていたという。

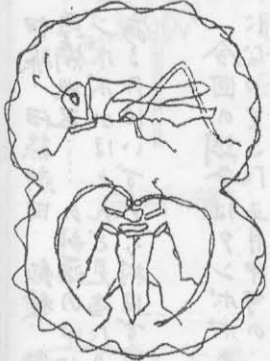
拾う、投げるのは人のひととき過ぎると、小倅らは

「ヤツラ(野郎)もういいにしべえやよ」と声をかけ合つて、近くの家のうらでクシヤクシマ。

「うめえなあ」

「うん、うめえなあ」

成東線・成田線が開通するまで、当地の浜宿河岸(かし)に、荷駄が通つていたころの、たあいのない世俗の一端でもある。



日記 (5) ところどころ  
政 押尾翠村記  
15号よりつづく

明治19年 12月 巖島山住吉神社地内の松の木代78円若代金を以て金80円にて酒々井町ポンプの樹とし残金にて龍吐水と修繕致し申候。

明治20年 1月19日 東京四ッ谷ポンプ屋、石川栄吉よりポンプ到着、代金77円50支に有之申候。

8月19日 釜鉄蝕にて暗闇と相成申候。

10月15日 墨区宗島新五郎養蚕室にて農産物比較会開催、飛起者は宗島新五郎、若林民治郎、中台治三右衛門、深山長十郎の4名にこれあり申候。

11月28日 30日 ポンプ小屋棟上、場所は勝蔵院入口左側にて、撒餅致し申候。この節深山長十郎金1円、餅2斤寄附致し申候。

明治18年 今年より大佐倉八幡様、八坂神社御仮屋の儀、勝蔵院前と相成り申候。

11月 横町に火あり、大宮金十、蒔米蔵、山崎吉松の三戸焼失致し申候。

11月11日 農務掛、賛州の人、奈良仙治と申者、東光寺にて農務のお吐あり、始めて共進会を開く事に相成り、欲待役も投票候処、鶴岡安司 当選致し申候。

村方難波に付、成田村の中183戸へ新勝寺にて米183俵被下置候。

明治19年 1月9日 佐倉郡役所開き、当日90才以上の看街呼出に相成申候。

3月19日 佐倉新町に火あり、50戸焼失致し申候。

5月 酒々井町方、村方合併に相成申候。

11月6日 墨区宗島新五郎養蚕室にて農産物比較会を開催に相成申候。

以下 次号へ続きます。  
(尚 皆さまからの御意見、御感想を寄せていただきますよう、御願ひいたします。)

